

一王寺遺跡出土の土面について

史跡是川石器時代遺跡の一部である一王寺遺跡において、令和3年度内容確認調査実施中の6月17日に縄文時代の土面が出土した。

この土面は、一王寺遺跡を含む円筒土器文化や、縄文時代の土面の歴史を考えるうえで極めて重要な資料と考えられる。

現在、縄文時代の土面のうち最古のものは重要文化財「徳島県矢野遺跡出土品」の土面とされ、縄文時代後期初頭（約4,000年前）に位置付けられている。

今回、一王寺遺跡から出土したこの土面は縄文時代中期前半（約5,300～5,100年前）のものと考えられ、矢野遺跡の土面よりも大きく遡る時期に作られたものと考えられる。

概要は以下のとおり。

1. 出土状況 一王寺遺跡（八戸市大字是川字一王寺地内）の縄文時代前期後葉から中期中葉頃までの遺物包含層から裏返しの状態で出土
※別紙位置図参照
2. 大きさ 長さ（8.0）cm 幅8.1cm 厚さ1.2cm 重さ46.10g
※すべて最大値、（ ）は残存値を表す
3. 特徴
 - ・粘土を素材として焼成された土製品の一種
 - ・3つの貫通孔によって両目と口が表現されている
 - ・表面には、多数の刺突と眉と思われる粘土紐の貼り付けがみられる
 - ・表面の刺突は、縄文時代中期前半の円筒上層c式土器に特徴的にみられる装飾手法
4. 時期 縄文時代中期前半（円筒上層c式期）
※円筒上層c式：5,300～5,100年前
5. 一般公開 是川縄文館企画展「装いー身を飾る人びとー」にて11月13日（土）から11月28日（日）まで展示

一王寺遺跡出土土面写真(表・実大)



土面出土地点位置図



南郷歴史民俗資料館
コレクション展

「酒」



徳利やお猪口等に代表される酒器、かつて南郷島守地区で醸造されていた日本酒を含む酒瓶のラベル等、南郷歴史民俗資料館収蔵の「酒」にまつわる資料が大集合

会期 令和3年11月20日(土)~翌年3月21日(月)

八戸市南郷歴史民俗資料館 青森県八戸市南郷大字島守字小山田 7-1
TEL/FAX 0178(83)2443

- 【開館時間】 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 【休館日】 月曜日(第1月曜日または祝日の場合を除く)
祝日の翌日(土・日曜日または祝日の場合を除く)
年末年始(12月27日~1月4日)
- 【入館料】 一般150円(100円)、高校・大学生100円(50円)、小・中学生50円(30円)
※()内は20人以上の団体料金。※市内の小・中学生は無料。
※八戸市内在住65歳以上の方は半額。
※障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は半額。

2021
企画展
Winter

是川遺跡の

鉢

形土器

これかわいせきのはちがたどき

是川遺跡からは、鉢・皿・壺・注口などの土器が出土しています。なかでも鉢形土器は、植木鉢や菓子鉢のような形のほか、透かし細工の台が付いたものなど、さまざまな形が作られており、その数は4,000点以上に及びます。本企画展では、その中でも特に形や模様のデザインがきれいな優品を中心に紹介します。

2021

12.11(土) >>> 2022 3.21(月)

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

〒031-0023 青森県八戸市大字是川字横山 1
TEL:0178-38-9511 FAX:0178-96-5392
<https://www.korekawa-jomon.jp>

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：12月13,20,27～31 1月1～4,11,17,24,31
2月7,14,21,24,28 3月7,14

観覧料：通常料金でご覧になれます

